

Funehiki High School News vol.144

～がんばる船高生～
ATTENTION!

第24回 福島県総合体育大会県大会出場決定 卓球部

福島県総合体育大会の地区予選が6月中旬に行われました。本校では、卓球部、ソフトテニス部が県大会出場を決めました。

今回は福島県総合体育大会卓球競技の個人戦に出場する、県大会初出場、本田翔牙さん（2年、船引中学校出身）に話を聞きました。

——大会を振り返って勝因は何だと思えますか？

気持ちです。先輩と出場する最後の大会だったので、どうしても一緒に県大会に行きたいという思いが強かったので、相手にセットを取られても、気持ちでは負けなかったと思います。

——普段、どのようなことを心掛けて、どのような練習をしていますか？

心掛けているのは「基本打ちを大事に」ということです。フォアハンドとバックハンドの往復100回という基本的な練習を、1球1球を大切に、繰り返し行っています。

——得意技を教えてください。

サーブです。練習では的を作って、何度も何度も的に当たるまでサーブを打っています。試合でも、得意なサーブから流れを作っています。

——最後に、初の県大会の意気込みを聞かせてください。

1勝でも多く勝ちたいです。そして、先輩と少しでも長く卓球をやりたいです。

応援よろしくお願いいたします。



▲練習でサーブに磨きをかける本田さん

◆船引高校同窓会より

●東京支部総会・懇親会が開催されました！

5月26日正午から東京都台東区上野ホテル・パークサイドで船引高校同窓会の東京支部総会・懇親会が開催されました。関東圏在住の同窓生が、久々の再会を果たしました。

●同窓会総会・同期会開催のお知らせ

9月13日(金)午後6時30分からウェディングプラザ丸美で、総会・同期会を開催します。

今回対象の卒業年度同窓生皆様のご参加をお待ちしています。

なお、今回の同期会の対象卒業年度は、次のとおりです。

昭和 43, 48, 53, 58, 63 年度

平成 5, 10, 15, 20, 25, 28 年度

問合せ 船引高校同窓会事務局（船引高校内）



▲同窓会東京支部の総会・懇親会に参加されたみなさん



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

ゴールデンウィーク

ゴールデンウィークに京都を旅行してホテルに四日間滞在しました。京都までは高速バスを利用し、早朝に到着した京都は静寂に包まれていました。最初に見たのは宇治市の平等院で、その大きな美しさに感動しました。その日は天気恵まれ、たくさん写真撮ることができました。平等院の周辺にはいろいろな花が咲き、藤の花が咲いている広い場所もありました。平等院の後は、京都水族館に行きたくさんの動物、オオトカゲ、アザラシ、ペンギン、そして大好きなイルカを見ました。イルカのショーでジャンプや妙技を見ました。イルカを見ることのできたのは旅行で最も印象に残ったことの一つです。



とても暑い日で大勢の人に囲まれてそろそろと歩きながら見学しました。日の当たる場所にいることが多かったものの、日焼けなど気にせず、金閣寺にとっても感動してたくさん写真を撮り、お寺周りをしながらおみやげを買いました。伏見稲荷も見に行き、想像以上にとても大きく感じ、鳥居の数に驚きながら時間をかけてたくさんの鳥居をくぐりました。伏見稲荷では、私になでさせてくれるほど人懐こい猫に会いました。京都から帰る前に嵐山を訪れました。道中に道沿いの両側にあった竹林に感嘆しました。疲れをとるために傍らの岩の上に腰を下ろしている間、見事な竹林の眺めを楽しみました。

京都旅行の楽しさは言葉で表せません。京都は美しい古都で、もっともっと多くの人に訪れて欲しいと思いました。



Abigail Swartzbaugh
アビゲイル・スワーツバウさん
(アメリカ合衆国
ペンシルベニア州出身)
田村市に来て2年目

海	を	越	え	て	英	語	指	導	助	手	ペ	ン	リ	レ	ー	No.	73
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----

タージ・マハル



Nathanael Shifley
ナサニエル・シャイフリーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て2年目

タージ・マハルはインドで有名な歴史的建造物です。多くの観光客がそれを見るためだけにインドを訪れるほどです。その壁の外側にも内側にも様々なデザインが施されていてとても美しいです。インドを有名にしている純粋な白大理石で建物全体が作られています。ほとんどの観光客はタージ・マハルが単なる建造物ではないということを知らません。それはシャ・ジャハーンという有名なインドの王が、妃であるムムターズ・マハルのために建設した霊廟なのです。



私も初めて訪れた時にはそのことを知りませんでした。他の観光客と同じように、その美しい大理石建築に感動しました。そしてタージ・マハルについてもっと調べて、より多くのことを知ったのです。王が妃への愛を表現するための建造物だったこと、タージ・マハルを囲む庭園も、愛の象徴を意味すること、多くの有名な人々が、タージ・マハルを美しく見せるために飾りつけをしたこと。すべて王が妃の死後も愛し続けていたことを示すためでした。実際、王は妃を愛するあまり、自分もタージ・マハルに埋葬されたことでもいふ二人は共にいることができた。インドの人々は愛が死後も続くことを信じているので、二人が死後の世界でも愛し続けていることを願っています。

タージ・マハルは素晴らしい建造物であるだけでなく、インドの人々にとっては愛の象徴なのです。そして、それは人々にとって崇拜すべき建物とさえなっています。タージ・マハルには、多くの美しい物語が秘められています。どうぞ、調べてみてください。